

『協働通信』は、「那覇市協働によるまちづくり推進協議会 ～なはおせっかいワクワク隊～」の行う事業の一環として、毎月発行しています。

## 那覇市民憲章実践者表彰に3名の大使！

那覇市民憲章推進協議会は「明るく住みよいまちをつくる」ため、市民憲章が市民全体に浸透することを願い、市民憲章をより具体的な行動目標とするため、さまざまな市民憲章運動推進事業を実施している組織です（市HPより）。毎年、市民憲章に沿った実践活動をしている方たちを表彰しています。

昨年度より当協議会へも実践者の推薦依頼があり、推薦枠3名の方を推薦しました。その表彰式が6月9日サザンプラザ海邦にて行われましたので、今回、表彰を受けた協働大使の方をご紹介します。



お名前	活動紹介
浦崎 キクエ	沖縄県かりゆし長寿大学校やなは市民大学・なは市民協働大学を卒業後、積極的にまちづくりに参加してきた。その活動は環境美化・健康福祉・交通安全分野と多岐に亘り、地道な活動は市民の模範となるべきものである。また、当協議会の事業目的をよく理解し、協働大使として惜しみない協力と、協働することを自ら楽しみながら参加している。
嘉数 学	長く県外において、特に阪神淡路大震災でのボランティア活動の経験を活かし、那覇市における市民レベルのまちづくりに携わってきた。環境に関わる仕事柄、市のクリーンサポーターとしてもごみ分別の指導や地域の環境美化を推進している。また、協働大使として当協議会の環境専門部会長を務め、市内各小学校で環境出前講座「生ごみをギュッとしばって！」を実践し、子どもたちのごみ減量に対する意識の啓発を行うと同時に、地域住民の参加を促すことで協働によるまちづくりを実践している。
仲地 滉	長年に亘り自治会役員として、また、民生委員児童委員として地域の福祉活動に積極的に関わってきた。特に、近年重要な課題として注目されている高齢者の一人暮らしや認知症患者への対応について地域で取り組むべき課題ととらえ、当協議会と連携し認知症サポーター養成講座を開催するなど、住民の認知度を高めると同時に互いの情報の共有化を図り、今後は福祉マップ作りや見守り活動へと広げていくため活動を進めている。



## ★ 子ども専門部会からのお知らせ ★

子ども専門部会では改めて協働大使の皆さんと、子どもにまつわる様々な課題や日頃感じていることを語り合おうと、8月開催に向けた「ゆんたく会」を企画しています。

そこで、準備の段階から一緒に取り組んでくれる方を募集中！次回の部会に是非、ご参加ください(^o^)

日時：平成27年7月30日（木）

15時～17時

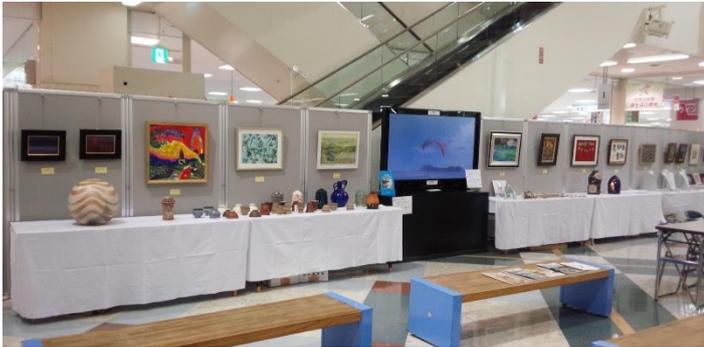
場所：なは市民協働プラザ3F会議室

※駐車場は1時間しか利用できませんので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



# 「いわき なはアート交流展」 皆さまのご協力ありがとうございました！

7月1日から5日間にわたり、イオン那覇店まちあわせの広場にて開催された「いわきなはアート交流展」は、多くの協働大使の皆さんや事業所の皆さんのご協力によって、滞りなく全日程を無事に終えることができました。



今回、福島県いわき市から那覇市での交流のため43名の市民の皆さんと、お二人のいわき市職員の方がおみえになり、交流展だけでなく交流会やまちま～いなどの場を通して交流を深め、沖縄と福島の互いの立場を理解しあう機会となりました。



オープニングセレモニーでは、テープカットのあといわき市の石川進さんから書と、石川幸男さんから絵のぼりの作品のご寄贈がありました。また、同会場で協働大使の委嘱式も行われ、いわき市の葉田野眞佳さんも委嘱を受けました。今後も協働大使の一人として那覇市といわき市の懸け橋となり、両市で人と人をつなぐ役割を担っていただくことが期待されています。

初めて沖縄に来られた江尻さんより。

時の流れが違っていて  
現実でありながら  
まるで夢の中にいたような気がする  
沖縄の旅でした

優しい温かな心に触れ  
たくさんの感動に胸が熱くなり  
沖縄の人たちの抱えている問題の重さが辛く  
戦争の悲惨さを思い知り  
海と空の美しさに心洗われて

沖縄で過ごした一週間で  
思い出しては・・・余韻に浸っています



いわき陶芸協会  
佐藤繁忠会長より



【連絡先】那覇市協働による推進協議会 事務局

TEL/FAX 955-2282

